

先生、たったひとりで弁当をつくれるようになりました。
献立、買い出し、調理、弁当箱詰め、かたづけ。
親がいなくても全部自分でできるようになったんです。

それで気づいたことがあります。

僕、お米をつくっていません。
野菜を作っていません
弁当箱の中の鮭、捕まえてないです。
鮭を捕まえてくれた人がいます。
その人が乗った船をつくった人がいます。
捕まえた鮭をトラックに乗せて運んだ人がいます。
その人が乗った車をつくった人がいます。
その車が走った道をつくった人がいます。
台所でフライパンやなべを使いました。
それをつくった人がいます。
ガスや電気を使いました。
僕の家それを届けてくれた人がいます。

先生、
この弁当箱の向こうでたくさんの大人達が働いてくれています。
その人たちに感謝したいです。
でも、その大人たちの誰ひとり、
名前を知りません。顔を知りません。
会ったことも話したこともないんです。
その人たちが働いてくれたおかげで、
僕は台所でひとりで弁当をつくることができました。

だから、先生。

弁当ひとつ、僕ひとりでつくることはできません。

参考文献

「弁当づくりで身につく力」竹下 和男